

世界から人環へ・人環から世界へ

No. 21 April 2026



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニューズレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

年度	2021	2022	2023	2024	2025
招聘研究員 (客員教授・准教授)	1	5	3	5	4
招聘外国人学者	0	5	13	12	7
外国人共同研究者	3	2	7	4	7

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2025年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の中の()内は国籍/所属・身分)。

招聘研究員(客員教授・准教授)

- 劉雲剛先生(中国/華南師範大学 地理科学学院・教授)
- ROUXEL, Tanguy 先生(フランス/レンヌ大学・教授)

- 林俊良先生(台湾/台湾国立陽明交通大学・准教授)
- 方一新先生(中国/浙江大学・教授)

招聘外国人学者

- STEINECK, Raji Carl Ludwig 先生(スイス/チューリッヒ大学・教授)
- 李蓮玉先生(中国/蘇州科技大学・講師)
- ZHANG, Yunlei 先生(中国/江蘇大学・准教授)
- LOSCHKY, Lester C. 先生(米国/カンザス州立大学・教授)
- MORA LUNA, Antonia María 先生(スペイン/バレンシア大学・講師)
- Lee Ruda 先生(韓国/Center for Global K-Culture Studies・所長)
- 曾秋桂先生(台湾/淡江大学・教授)

外国人共同研究者

- LUO, Bin 氏(中国/The First Affiliated Hospital of University of Science and Technology of China・Medical Doctor)
- LEHMANN, Robert (ドイツ/ヒルデスハイム大学・プロジェクト研究員)
- 霍传松氏(中国/同濟大学人文学院・博士研究生)
- 趙川瑩氏(中国/所属機関なし・国家派遣高級研究者PD留学人員)
- SUN, James Jian 氏(米国/カリフォルニア大学・博士課程学生)
- Yash, Raj 氏(インド/ジャワハルラール・ネルー大学・博士課程学生)
- 吳峻瑜氏(台湾・台湾国立陽明交通大学・博士課程学生)

国際交流セミナー

人間・環境学研究科では、常時数名の招聘研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第 93 回 2025 年 9 月 30 日

演者 劉 雲剛 先生

中国／華南師範大学・教授

演題 中国の都市地理—生活空間と領域性



第 94 回 2025 年 11 月 18 日

演者 ROUXEL, Tanguy 先生

フランス／Rennes 大学・教授

演題 Glasses and ceramics: brittle or ductile?

From the atomic structure to the macroscopic behavior



第 95 回 2026 年 1 月 21 日

演者 方 一新 先生

中国／浙江大学・教授

演題 《世説新語》与魏晋士人(『世説新語』と魏晋士人)

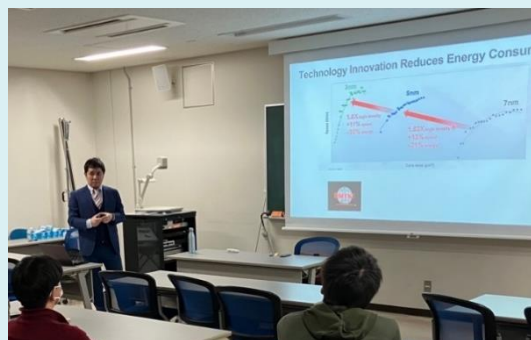


第 96 回 2026 年 2 月 19 日

演者 林 俊良 先生

台湾／台湾国立陽明交通大学・准教授

演題 Characterization of Interfaces between Contact Metals and Monolayer 2D Semiconductor



学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得課程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引き」を参考にして下さい）。以下、昨年度留学をした2人をご紹介します。（説明は、①留学先、②留学先の所属(身分)、③研究テーマ、④奨学金、⑤留学期間、⑥メッセージ）

高橋 奏子さん（人間・社会・思想講座・博士2年生）

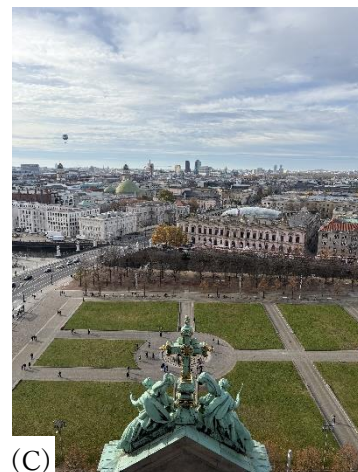
① ドイツ・ベルリン自由大学 ② 哲学部(交換留学)
③ テオドール・アドルノの神学思想の変遷 ④ 日本学術振興会特別研究員 DC1 ⑤ 2025年10月～2026年3月
⑥ 国際色豊かな街の特性も相まって、世界中から研究者が集う刺激的な環境に身を置くことができました。また1930～60年代の思想を研究する自分にとって、戦時下や東西ドイツの面影を強く残すベルリンで生活できたことはとても有意義でした。クリスマスマーケットをはじめ、ドイツの文化を暮らしながら体験できたことも良かったです。



(A)



(B)



(C)

(A) 大学図書館の様子

(B) ベルリンのクリスマスマーケット

(C) ベルリン大聖堂からの景色

神田 育也さん（芸術文化講座・博士3年生）

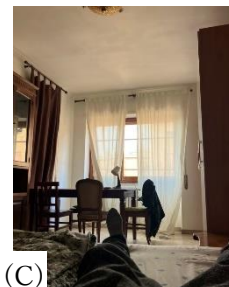
① イタリア・ローマ・ラ・サピエンツァ大学 ② 文学哲学学部 (交換留学) ③ イタリア映画監督フェデリコ・フェリーニの作家主義研究 ④ 日本学術振興会特別研究員 DC2 ⑤ 2025年2月～2026年1月 ⑥ ローマの映画スタジオ・チネチッタ近くに滞在し、映画実験センターにて脚本等の撮影資料・映画雑誌を閲覧しました。日本では決してアクセスすることができない膨大な資料の数に圧倒された甲斐あつたか、語学能力が半強制的に伸ばされました。加えて、サピエンツァ大学のみならず、ほかのイタリア大学の教員にもコンタクトを取り、学会発表の機会を提供してもらえるなど、充実した研究留学となりました。



(A)



(B)



(C)

(A) 映画実験センター (B) 国立国会図書館 (C) 下宿先の部屋。2025年はカトリックの25年に1回の大赦の年「ユビレウム」に当たり、宿泊施設・家賃の価格が20%ほど上昇した。

外国人留学生

人間・環境学研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。京都大学全体では2025年5月1日現在、2,857名の留学生が在学し、そのうち209名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学生669名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約31%に当たり、また、その出身地は23の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

表2 留学生受入れ数

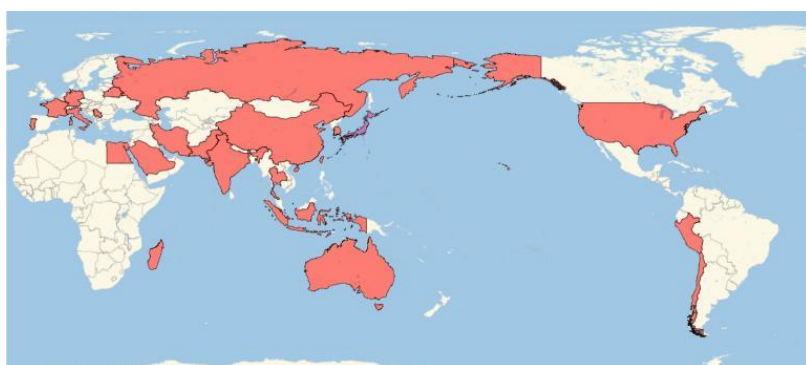
(各年度5月1日現在)

年度	2021	2022	2023	2024	2025
修士課程	78	79	82	85	92
博士後期課程	81	85	93	92	88
非正規 (研究生・特別研究学生 特別聴講学生)	13	24	27	26	29
合計	172	188	202	203	209

表3 留学生出身国地域別人数

(2025年5月1日現在)

中国	167	セルビア	1
韓国	8	タイ	1
台湾	6	チリ	1
インドネシア	5	ドイツ	1
米国	3	パキスタン	1
イタリア	2	フランス	1
香港	2	ベラルーシ	1
イラン	1	ペルー	1
インド	1	ポルトガル	1
エジプト	1	マダガスカル	1
オーストラリア	1	ロシア	1
サウジアラビア	1		
			計 209人



◆ URL: <https://www.h.kyoto-u.ac.jp/international/>

◆ 問い合わせ先

- 国際交流委員／留学生アドバイザー
Matthew de Brecht (マシュー・ディブレクト)
Email: jinkan_ryugaku@adm.h.kyoto-u.ac.jp

- 京都大学大学院人間・環境学研究科 大学教務院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2951/2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp